

第4回 東大和市学校給食センター運営委員会 報告

※東大和市学校給食計画（案）に関する部分のみ掲載しています。

- 1 日時 平成22年2月18日（木）午後1時30分～3時
- 2 場所 奈良橋市民センター 集会室
- 3 出席者 26名
- 4 代理出席 1名
- 5 欠席者 8名
- 6 事務局 10名
- 7 傍聴者 1名
- 8 内容

配布資料の訂正

第1回 専門部会資料として配布した資料「東大和市学校給食に関する経緯」の中に誤りがあったことについて、会議冒頭に事務局から訂正を行った。

議題(1) 東大和市学校給食計画(案)審議結果、専門部会からの最終報告

専門部会長から審議結果について最終報告がなされた。

議題(2) 東大和市学校給食計画(案)について(最終答申)

最終報告をもって最終答申とすることが議決され、前文などについては運営委員会会長に一任することとなった。

9 主な意見・質疑応答（要旨）

配布資料の訂正

資料の訂正が専門部会・運営委員会の審議内容に与える影響については、特に意見がなかった。

議題(1) 東大和市学校給食計画(案)審議結果、専門部会からの最終報告

質疑・意見なし

議題(2) 東大和市学校給食計画(案)について(最終答申)

(意見) 給食センター建て替え用地に関して、報告の(1)現状分析、問題点及び今後の課題③建て替えについての2項目目に「桜が丘市民広場の一部を候補地とすることについて、現在の広場利用者との関係において課題がある」と記載されているが、

(3)結論③建て替えについての2項目目では「桜が丘市民広場の一部とする現在の案が望ましい」となっている。専門部会の審議では、他にどのような候補地が考えられるか検討したが、ふさわしい用地が桜が丘市民広場しかなく、「仕方なく」桜が丘市民広場となったというムードであり「望ましい」という流れではなかったように記憶している。このような表現を行うのであれば言葉を補った方がよいのではないか。

(回答 専門部会長) (1)現状分析、問題点及び今後の課題において、課題があると

されたが、他の候補地について検討した結果、(2) 検討内容及び意見③にあるように「候補地について、課題はあるが他に選択肢がなければ桜が丘市民広場で進めたい」という意見が示され、この結果(3) 結論「現在の案が望ましい」となった。

専門部会員から審議終了に当たっての感想：

部会員：専門部会に参加し審議したことで、今までなぜ個々食器導入が実現できなかったかなど、年2回程度の運営委員会に出席するだけではわからなかったことがよくわかり、とてもよかった。ここで知ったことを他の多くの保護者にも伝えたい。

専門部会長：私自身も、やきそばとおにぎりがなぜ一緒に出てくるのか疑問だったが、食器保管場所・設備がなくエネルギー量が単品だと足りないためであると知った。手作り給食とは具体的にどの部分だろうかと思っていたが、「おわりに」にあるようにカレーライスルーやつくだ煮であることなどがわかり、給食について理解を深めることができた実感した。部会員の言うとおり、多くの保護者も給食についてはあまり知らない点では同様であろう。

最終報告7ページ「おわりに」下から3行目以降にあるように「東大和市学校給食計画を策定し、新しい給食センターの建設を進めるにあたっては」今日から「市民への情報提供を今以上に充実させて」もらえればよりよいものができ、よりよい運営ができると思う。子どもたちが毎日食べる給食なので、細心の注意を払いながら、学校とセンターが協力し、保護者とともに食育を推進していけるとよいと思う。